

大変動時代の

食と農

日時: 平成29年10月14日(土) 10時~

場所: 東京大学弥生講堂

聴講無料

(地下鉄南北線 東大前駅 徒歩1分 地下鉄千代田線 根津駅 徒歩8分)

I 顕在化した大変動

「降雨パターンの変動と林地災害の激甚化」

森林研究・整備機構森林総合研究所 大丸 裕武

「変動する海流システムと水産資源の持続可能性」

長崎大学水産学部 中田 英昭

「塩からい水で魚と野菜を育てる

—乾燥地での持続的な食料生産をめざして—

鳥取大学農学部 山田 智

「地球温暖化から家畜生産を守る

—適応技術開発の取り組み—

農研機構畜産研究部門 永西 修

「パイプライン用水路が持つ夏季灌漑水温の上昇抑制効果」

農研機構中央農業研究センター 坂田 賢

II 変動の諸様相と対応技術開発

「環境変動が雑草の生態や管理に及ぼす影響」

農研機構農業環境変動研究センター 與語 靖洋

「地球温暖化によって果樹の栽培適地はどうか変わる?」

農研機構果樹茶業研究部門 杉浦 俊彦

III 国際的取り組み

「増大する作物病害虫の新興リスクにどう立ち向かう?」

農研機構中央農業研究センター 大藤 泰雄

「地球環境と食料・農業に関する国際的な科学と社会のコミュニケーション」

農研機構農業環境変動研究センター 八木 一行

